

# 令和2年度 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン施策評価シート

## 1 基本情報

戦略	【戦略1】若い世代の希望の実現～若者・子育て世代の定住環境の創出～
目標	【目標①】子育て環境日本一【重点目標】
基本的方向性 (抜粋)	若い世代が安心して結婚し、子どもを産み育てられるよう、子育てしやすい環境の整備や、出会いから結婚、妊娠、出産、子育てなど、各ライフステージに応じた支援の展開により、子育て環境日本一のまちを目指します。

## 2 各施策の進捗状況について

### ① 「子どもと住みたい龍ヶ崎」の実現

保育環境や学童保育ルームの充実、子育て・仕事の両立支援、小児救急医療等の医療体制の充実など、子育てしやすい環境を整備し、「子どもと住みたい龍ヶ崎」の実現を目指します。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.8～12】	<p>●<b>保育環境の充実</b> 既存の保育施設の定員数増加や新規認可保育園の整備計画の支援等、待機児童削減のための取組を実施した。また、保育の維持のため、継続的に保育士等へのサポート(修学資金貸付・家賃補助)を行い、保育環境の充実を図った。子育て支援センターの運営では、コロナ禍での休館をきっかけに、職員による幼児向け動画の配信を行い、好評を博した。</p> <p>●<b>学童保育ルームの充実</b> 令和2年4月から学童保育ルームの民間事業者への委託が行われ、支援員の確保や繁忙期の弾力的な配置等、効果的で安定的なサービスが提供できることとなった。</p> <p>●<b>歯科保健の推進</b> 2歳6か月児歯科健診を医療機関検診へ移行し、検診受診の機会増加等に取り組んだ。</p> <p>●<b>その他の事業</b> 小児救急医療輪番制の運営、駅前子どもステーションの運営、ファミリーサポート・リフレッシュ保育の実施など</p>
---------------------------------------	--

重要業績評価指標(KPI)		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	保育所の待機児童数(人)	0	0	0	0	0	0
②	駅前子どもステーションに満足している利用者の割合(%)	-	97.7	100(送迎分) 96.7(支援センター分)	95.7(送迎分) 100(支援センター分)	93.3(送迎分) 100(支援センター分)	80
③	学童保育ルームの待機児童数(人)	0	0	0	0	0	0
④	病院・医数の数と夜間・休日などの医療サービス体制に満足している市民の割合(%)	39.4 (H28)	-	42.2	-	42.3 (R3)	50
⑤	子育てと仕事が両立しやすい職場環境であると感じている保護者の割合(%)	54.8 (H26)	-	64.3	75.8	71.9	62

進捗状況評価	現状分析	<p>●「保育所の待機児童数」は、引き続き令和2年4月1日現在で「0」を維持している。既存の保育施設の定員数増加等の受入体制強化の取組で、令和2年4月現在で40人の利用定員増となっていることなどが要因の一つとなり、成果につながっているものと考えられる(なお、参考として、令和2年10月1日現在でも「0」となっている。)。また、「学童保育ルームの待機児童数」は、引き続き年間を通じて「0」を維持している。</p> <p>●駅前子どもステーションは、「満足している利用者の割合」も、引き続き高い数値を維持している。</p> <p>●「医療サービス体制への満足度」については、健診・検診体制の拡充や小児救急医療輪番制等の着実な取組により、少しずつではあるが、数値も目標値に近づいてきている。また、「子育てと仕事の両立しやすさ」については、目標値をクリアしており、子育て支援施策全般として取組が成果を上げているものと評価できる。</p> <p>●コロナ禍における利用制限のあった子育て支援センター「さんさん館」では、職員の自発的な取組で幼児向け動画配信を開始し、自宅でもできる遊びに関する24本の動画を公開、最も多いもので5,000回再生を越すコンテンツとなっており、利用者からの評価も高い。</p>
	進捗状況	<p>■順調に進捗している <input type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある</p> <p><input type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある</p>
	今後の施策・事業展開の方向性	「子どもと住みたい龍ヶ崎」の実現に向け、保育施設や子育て支援施設の整備等のハード面、保育士や学童ルームの支援員等の人材確保、イベントの実施や健診環境等の整備等のソフト面の両面からの着実な取組が成果を出している。アフターコロナの社会状況や市民ニーズを的確に捉え、「龍ヶ崎スタイル」の子育てしやすい環境の整備に向け、今後も継続的に取組を推進していく。



### ③ 若者・子育て世代への経済的な支援

住み替え支援、医療費の助成など、若者・子育て世代を経済的な面から支援します。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.19~20】		<p>●若者・子育て世代の住み替え支援                      若者・子育て世代住宅取得補助金制度のターゲットとなっている世帯等へ確実に情報を伝えるため、子育て情報誌への広告掲載やSNS等を活用した徹底したPR活動を実施、申請機会を逸しないために家屋調査時の通知や固定資産税納税通知にチラシを同封する等を行い、申請者数の増加を図った。また、チラシについても利用者視点に立ち、分かりやすいものに改めて作成したことで、利用者からの高評価も得られた。</p> <p>●多子世帯支援                      多子世帯の経済的負担軽減を図るため、第3子以降の小中学生の給食費負担金の免除を行った。</p>					
重要業績評価指標(KPI) ★:R3年度までの累積による目標値		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	★住み替え支援による転入世帯数(世帯)	—	50	92	131	190	250 (H29~R3)
②	住み替え支援に対する満足度(%)	—	78.5	74.1	85.1	97.4	80
③	第3子の出生数(人)	92	87	85	78	80	114
進捗状況評価	現状分析	<p>●「住み替え支援に対する満足度」は、前年度と比べ大きく増加し、目標値を大きく上回っている。若者・子育て世代住宅取得補助金が定着し、チラシ等の分かりやすさを意識する等、広報・プロモーションを強く意識したことによる成果と考えられ、申請数も前年度比で上昇(154件→172件)した。転入世帯数も上昇しており、目標値の達成も見込むことができる数値となっている。</p> <p>●「第3子の出生数」は、全国的な傾向とはいえ、目標値から大きく離れ、目標値の達成は難しい状況である。多子世帯支援の施策が、成果に結びついていない状況である。</p>					
	進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある					
	今後の施策・事業展開の方向性	定住促進に向けた経済的支援の主要事業である若者・子育て世代住宅取得補助金については、制度の利用状況も良好であり、有効な施策の一つと考えられることから、今後の社会動向や市民ニーズ等も勘案し、より成果につながる施策となるよう、制度のあり方を検討していく。					















# 令和2年度 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン施策評価シート

## 1 基本情報

戦略	【戦略2】教育環境の向上「まちづくりを担う人づくり」
目標	【目標④】龍の子の生きる力を育むまちづくり
基本的方向性 (抜粋)	児童生徒の「確かな学力」、「豊かな心」、「健康な体」とともに自主性や社会性を育む教育を推進することや、義務教育環境の更なる向上のための小中一貫教育の推進など、少子化や人口減少社会に対応した教育環境の整備を図ります。

## 2 各施策の進捗状況について

### ① 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進

児童生徒一人ひとりが「確かな学力」、「豊かな心」、「健康な体」など、いわゆる「知・徳・体」をバランスよく兼ね備えるための教育を推進します。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.42～43】	<p>●ICT教育の推進 国のGIGAスクール構想に基づき、小中学校への無線LAN環境の整備やインターネット環境の整備を実施し、また、児童生徒1人1台の学習用端末(Chromebook)の配備を行った。ICT環境の活用にあたっては、各校へICT支援員が定期的に訪問し、授業支援等を行った。</p> <p>●外国語教育の推進 中学生の英語力強化のため、(公財)日本英語検定協会実施の実用英語検定試験への検定料助成を行った。また、外国語活動・指導は、ALTを12人体制で、授業以外のスクールイングリッシュ等活動もあり、英語によるコミュニケーション体験活動が充実してきている。</p>
--	---

重要業績評価指標(KPI)		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	全国学力・学習状況調査の算数(図形・数量問題)・理科(生命・宇宙)の結果の県平均との比較(ポイント)	図形・数量A -1.8 図形・数量B -3.05 生命・宇宙 -3.35	図形・数量A -1.1 図形・数量B -0.9 生命・宇宙 -	図形・数量A -2.0 図形・数量B -1.35 生命・宇宙 -2.15	図形・数量 -3.1 生命・宇宙 -	-	図形・数量A +1 図形・数量B +1 生命・宇宙 +1
②	AETとの学習が楽しいと答えた児童生徒の割合(%)	児童90.2 生徒77.1	児童73.7 生徒83.6	児童90.9 生徒80.8	児童92.5 生徒80.6	児童90.5 生徒87.0	児童95 生徒82
③	児童生徒1人当たりの学校図書館の利用回数(回)	児童46.2 生徒31.9	児童42.2 生徒33	児童40.7 生徒29.2	児童38.2 生徒26.2	児童42.8 生徒21.7	児童50 生徒35
④	人が困っている時は進んで助けていると答えた児童生徒の割合(%)	児童79.2 生徒82.5 (H28)	児童83.0 生徒82.2	-	児童82.2 生徒80.2	-	児童84 生徒88
⑤	体力テスト総合評価でA又はBの児童生徒の割合(%)	児童 男46.69 女49.16 生徒 男49.36 女69.06	児童 男48.50 女47.60 生徒 男54.20 女69.40	児童 男49.40 女54.70 生徒 男49.50 女74.80	児童 男44.0 女51.2 生徒 男38.1 女69.7	-	児童男女 60以上 生徒男女 60以上

進捗状況評価	現状分析	<p>●全国学力・学習状況調査が新型コロナウイルス感染症の影響で実施されなかった。代替として茨城県が実施した学力定着度テストの状況では、県平均よりも低い状況であり、これまでの傾向(県平均より低い状況)が続いているものと考えられる。</p> <p>●「AETとの学習が楽しいと答えた児童生徒の割合」について、昨年度と同様、比較的高い割合の児童生徒が「楽しい」と感じており、生徒については、目標値を達成した。スクールイングリッシュ等、授業以外にもALTと接する時間が増加していることが要因と考えられる。</p> <p>●学校図書館の利用回数は、児童について上昇が見られているものの、全体的には減少傾向に歯止めがかからず、目標達成は難しい。スマートフォン等の普及が少なからず影響しているものと思われる。</p> <p>●体力テストについても、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。これまでの傾向を勘案すると目標達成は難しいものと考えられる。</p>
	進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調に進捗している <input checked="" type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある <input type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある
	今後の施策・事業展開の方向性	ICTや英語教育等、社会動向やトレンド等を踏まえた部分への教育環境は、順調に整備できている一方、読書や運動等に関する底上げも必要な状況となってきている。知・徳・体、バランスよく兼ね備えた教育の推進に向けて効果的な事業を検討・実施していく。

## ② 自主性や社会性を育む教育環境の整備

児童生徒が楽しく学び、自主性や社会性を育むための教育環境の充実を図るとともに、義務教育である9年間を見据えた小中一貫教育を推進します。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.44～45】		<b>●小中一貫教育の推進</b> 小中一貫教育の実施に向けた「龍の子人づくり学習」を開始した。カリキュラムでは大きく分け、夢を育てる「ゆめ学習」と未来を創る「みらい学習」が進められ、シティズンシップ教育や地域参画、小中学校間の連携強化など、児童生徒のアクティブ・ラーニングを推進した。また、将来的な施設一体型小中一貫校の整備に向けた調査報告書を策定した。					
		<b>●小中学校の適正規模適正配置の推進</b> 愛宕中学校・城南中学校の統合に向け、統合準備会を実施し、また、各部会や学校間協議会を開催し、令和4年4月の開校に向け準備を進めた。					
重要業績評価指標(KPI)		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	自分には良いところがあると答えた児童生徒の割合(%)	児童72.4 生徒60	児童76.6 生徒67	児童79.8 生徒71.1	児童74.6 生徒75.9	—	児童77 生徒65
②	みんなで何かをするのは楽しいと答えた児童生徒の割合(%)	児童91.1 生徒88.3	児童92.5 生徒87.3	児童91.1 生徒87.8	児童91.4 生徒89.2	児童92.6 生徒88.9	児童92 生徒90
③	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があると答えた児童生徒の割合(%)	児童63.2 生徒54.4	児童59.4 生徒51.5	児童64.9 生徒51.2	—	—	児童68 生徒59
進捗状況評価	現状分析	<b>●全国学力・学習状況調査が新型コロナウイルス感染症の影響で実施されず、「自分には良いところがあると答えた児童生徒の割合」「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があると答えた児童生徒の割合」については数値が把握できない状況にあるが、「龍の子人づくり学習」の開始などにより、地域交流や地域貢献の機会が増加し、今後、数値の上昇につながるものと推察する。</b> <b>●「みんなで何かをするのは楽しいと答えた児童生徒の割合」は、前年度と比べ、児童については上昇しており、目標値を達成又は近い数値となっている。「龍の子人づくり学習」などにより、様々な関係性が創出されつつあり、数値の上昇につながっていると考えられる。</b> <b>●小中一貫教育の推進や適正規模適正配置(愛宕中学校・城南中学校の統合準備)に向けた環境整備は着実に進んでいる。</b>					
	進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある <input type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある					
	今後の施策・事業展開の方向性	引き続き、愛宕中学校と城南中学校の統合に向けての準備を進めるとともに、小中一貫教育の軸となる「龍の子人づくり学習」を推進する。また、児童・生徒数の推移や将来予測を見極めるとともに地域との対話を重ねながら適正規模適正配置の取組を推進する。					

### ③ 魅力があり、信頼される学校づくりの推進

地域の特性を活かした特徴的な教育活動を展開するなど、魅力ある学校づくりを推進します。また、学校情報の積極的な発言による、家庭や地域との連携強化、児童生徒の安全確保などにより、信頼される学校づくりを推進します。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.46～47】		<p>●<b>教育の日推進事業の充実</b>                  新型コロナウイルス感染症の影響により、大規模なイベントなどは実施できなかったものの、児童生徒やその家族が自宅で過ごす時間が長くなっていることを逆手に取り、親子で参加できるイベントメニュー(家族へのメッセージ・おうちで作るおすすめメニュー・みんなに教えたい龍ヶ崎のいいところ)を展開し、総計で1,300点の応募があった。</p> <p>●<b>魅力ある学校づくり推進事業(地域との交流事業の推進・シティズンシップ教育の推進)</b>  <b>【再掲】</b>                  新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの学校で事業を実施することができなかったものの、2中学校(中根台中・城ノ内中)では、市政参画意識を高める活動として自分たちの考えを外部に発信する取組を実施した。</p>					
重要業績評価指標(KPI) ★:R3年度までの累積による目標値		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	地域ボランティア等活用校及び延べ人数(上段:校、下段:人)	13 3,286	17 2,975	17 3,151	17 4,024	-	17 4,000
②	教育の日推進事業における小中学校等の自由参観者数(人)	13,114	9,175	10,864	14,570	-	18,000
③	★救急救命講習を修了した教職員の割合(%)	60	76	74	71	70.8	80
④	防災訓練の参加者数(人)	9,559	16,226	18,787	26,785	14,552	10,500
進捗状況評価	現状分析	<p>●地域ボランティア等の活用や教育の日推進事業については、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったが、「龍の子人づくり学習」がはじまり、学校と地域との連携強化が今まで以上に図られつつあり、また、市全体としての連携した取組を行うことで、事業全体の魅力度も向上してきており、数値は上昇していくものと推察される。</p> <p>●「防災訓練の参加者数」は、新型コロナウイルス感染症の影響で、防災訓練が実施されないこともあり、前年度と比較すると数値が減少しているが、ベース値・目標値を超えており、地域の防災意識が高まってきていると思われる。</p>					
	進捗状況	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している                      <input type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある  <input type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している           <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある                 </p>					
	今後の施策・事業展開の方向性	「龍の子人づくり学習」を軸としながら、地域と学校の連携を引き続き強化していく。また、教育の日推進事業については、これまでに培ってきたノウハウや関係性を最大限に活用し、児童生徒やその保護者はもちろんのこと、市民全体にも興味関心を持ってもらえるようなものとなるよう検討を行っていく。					



### ⑤ 学びを支える教育環境の整備

計画的な学校施設等の整備・改修や就学に関する経済的支援など、学びを支える教育環境の整備を図ります。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.51~52】		●生活困窮世帯の子どもの支援事業 認定NPO法人が実施する、生活困窮世帯の子どもへの学習支援(無料塾)や居場所づくり(子ども食堂)への支援を行った。 ●龍ヶ崎市学校給食センター整備事業 新学校給食センターの建設に向け、デザインビルド方式による契約事務を行い、事業へ着手した。また、インフラ関係の諸手続や国庫補助に関する諸手続を進めた。					
重要業績評価指標(KPI) ★:R3年度までの累積による目標値		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	学校に行くのが楽しいと答えた児童生徒の割合(%)	児童78.8 生徒79.2	児童88.4 生徒86.0	児童90.4 生徒88.0	児童87.6 生徒85.8	児童89.0 生徒86.1	児童85 生徒85
②	児童生徒一人当たりの給食食べ残し量(g)	児童36.9 生徒42.6	児童32.1 生徒43.6	児童30.7 生徒42.1	児童30.5 生徒43.5	児童25.3 生徒37.0	児童35 生徒40
③	★学校施設の長寿命化計画(個別施設計画)の策定率(%)	—	—	—	—	100	100
進捗状況評価	現状分析	●「学校に行くのが楽しいと答えた児童生徒の割合」は、昨年度に比べ上昇し、目標値に達した。ハード面を含め、学びを支える環境の充実が図られてきていることが要因の一つであると思われる。 ●「生徒一人当たりの給食食べ残し量」は、食の大切さについて、給食訪問等により児童生徒達の理解を深める取組を行った結果として、大きく数値の改善が見られ、目標値を達成した。 ●「学校施設の長寿命化計画の策定率」は、令和2年度において全ての策定を完了した。					
	進捗状況	■順調に進捗している <input type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある <input type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある					
	今後の施策・事業展開の方向性	生活困窮世帯の児童生徒の学習支援や居場所づくり等、引き続きNPO法人等との連携を強化し、児童生徒一人一人の学びを支える教育環境の構築を進めていく。その他、新学校給食センターの整備を含め、ハード・ソフト両面から、効果的・効率的な教育環境の整備を推進していく。					

# 令和2年度 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン施策評価シート

## 1 基本情報

戦略	【戦略2】教育環境の向上「まちづくりを担う人づくり」
目標	【目標⑤】子どもの健やかな成長と自立心を育むまちづくり
基本的方向性 (抜粋)	家庭教育の充実に向けて支援するとともに、家庭、地域、学校などが連携を図り、子どもたちが安全・安心な環境と地域のつながりの中で健やかに成長し、自立心が育まれるようなまちづくりを進めます。また、生涯にわたる人格形成の基礎となる幼児教育の充実にも取り組みます。

## 2 各施策の進捗状況について

### ① 家庭の教育力の向上

子どもの健やかな成長に必要な家庭教育の充実のため、各種セミナーや相談体制の充実を図ります。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.53~54】	<p>●<b>地域の子育て支援拠点の充実</b> 民間の子育て支援センター5か所については、運営費補助金を交付し、支援を行った。また、対象外の施設についても、当該支援についての説明を行い、働きかけを行った。</p> <p>●<b>各種セミナーの開催・相談体制の充実</b> 子育てふれあいセミナーが新型コロナウイルス感染症の影響で中止になったため、代替手段として、子育てアドバイスブックを小学校1年生から4年生までの保護者に配布し、また、子育てに関する情報を小学校1年生の保護者に向けて、子育てふれあいセミナー通信として発信した。</p>						
	重要業績評価指標(KPI) ★:R3年度までの累積による目標値	ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	子育てふれあいセミナーの延べ参加者数(人)	805	771	730	783	-	1,000
②	毎日、同じくらいの時間に寝ていると答えた児童生徒の割合(%)	児童 79.8 生徒 73.4	児童 82.1 生徒 74.6	児童 77.9 生徒 71.8	児童 77.5 生徒 78.7	-	児童 85 生徒 78
③	平日に家で1時間以上勉強をしていると答えた児童生徒の割合(%)	児童 51.8 生徒 65.1	児童 62.2 生徒 67.9	児童 66.7 生徒 62.8	児童 60.2 生徒 65.2	-	児童 57 生徒 70
④	★地域子育て支援センターの設置数(か所)	7	8	7	7	7	9
進捗状況評価	現状分析	<p>●小学校低学年の保護者を対象とした「子育てふれあいセミナーの延べ参加者数」は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催されなかったため把握できないが、この間の状況を勘案すると、保護者の就労環境の変化等により、目標値までの達成は難しいと推察される。</p> <p>●全国学力・学習状況調査が新型コロナウイルス感染症の影響で実施されず、比較評価できないが、「毎日、同じくらいの時間に寝ていると答えた児童生徒の割合」「平日に家で1時間以上勉強をしていると答えた児童生徒の割合」は、この間の推移を見ても大きな変化はなく、数値の上昇は難しいものと推察される。</p> <p>●「地域子育て支援センターの設置数」は、昨年度と比べ変化はない。</p>					
	進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調に進捗している <input checked="" type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある <input type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある					
	今後の施策・事業展開の方向性	子育てふれあいセミナーに代表される家庭での教育力の向上への施策は、家庭のあり方の多様化等により、効果の発揮が難しいといった課題もあり、施策の方向性も見直していく必要がある。今回、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったセミナーについては、オンラインの活用等により、状況に応じた対応が取れるような仕組みを検討していく。また、子育て支援拠点の充実に向けては、引き続き地域子育て支援センターが未設置の保育施設等に対し、設置の働きかけを行っていく。					

## ② 幼児教育の充実

人格形成において重要な時期である幼児期に注目し、幼稚園・保育園(所)・認定こども園の支援や幼・保・小の連携などのほか、幼児教育の充実を図ります。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.55～56】		<p><b>●幼稚園・保育園(所)・認定こども園と小学校の連携</b>                  新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、幼児期教育と義務教育の円滑な接続を推進するため、幼児と児童、又は職員間の交流事業を実施(非対面型)し、関係機関で「保幼小連携協議会」による情報交換(書面)などを実施する等、幼児教育施設と小学校が相互に協力しあえる関係の強化を図った。</p> <p><b>●子どもの読書活動の推進</b>                  新型コロナウイルス感染症の影響で定例の取組は実施できなかったが、子ども読書活動推進計画の策定に当たってのアンケート調査案の作成を行った。また、感染症の状況下での読書環境の維持等のため、電子図書館システムの拡充(書籍コンテンツの拡充)及び市内の全小中学生に向けて図書カードの配布を行った。</p>					
重要業績評価指標(KPI)		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	幼児との交流事業を行った小学校の割合(%)	58.3	64	100	100	45	90
②	幼児期の教育と小学校教育の連携・接続を行った割合(%)	83.3	100	100	100	100	100
③	幼稚園・保育園(所)・認定こども園職員の専門研修に派遣を行った施設の割合(%)	94.4	100	100	95	64.4	100
④	幼児(0～5歳)一人当たりの絵本・紙芝居貸出冊数(冊)	17.2	17.6	20	20	13.9	19
⑤	図書館の子ども向け講座・イベントの延べ参加者数(人)	706	1,875	2,271	1,728	-	780
進捗状況評価	現状分析	<p>●「幼児期の教育と小学校教育の連携・接続を行った割合」は、全ての年度で100%となっており、目標値も達成している。新型コロナウイルス感染症の影響下においても、園児と児童、職員間での交流事業や情報交換など、積極的な保幼小連携体制ができています。</p> <p>●一方、「幼児と交流事業を行った小学校の割合」「幼稚園・保育園(所)・認定こども園職員の専門研修に派遣を行った施設の割合」「幼児(0～5歳)一人当たりの絵本・紙芝居貸出冊数」は、新型コロナウイルス感染症の影響で、事業の中止や施設の利用制限などにより、大きく数値を減少させている。</p> <p>●「図書館の子ども向け講座・イベントの延べ参加者数」は、同じく感染症の影響を受け、事業を実施できなかった。</p>					
	進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある <input type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある					
	今後の施策・事業展開の方向性	これまで人的交流などを中心とした事業展開を実施していたことから、新型コロナウイルス感染症の影響で事業が実施できず、代替手段として電子書籍の拡充などにより、教育環境の維持を図った。今後においても、今回整備したコンテンツを有効に活用するための手段を検討するとともに、オンラインの活用など、緊急時においても事業の目的を達成できる手段を予め検討しておく必要がある。					



### ③ 子どもが健全に育つ環境の整備

学童保育などによる安全・安心な居場所づくり、学習支援事業など、子どもが健全に育つ環境の整備を図ります。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.57～58】		<b>●学童保育ルームの充実【再掲】</b> 令和2年4月から学童保育ルームの民間事業者への委託が行われ、支援員の確保や繁忙期の弾力的な配置等、効果的で安定的なサービスが提供できることとなった。 <b>●多様な学習機会の提供【再掲】</b> 小学校3年生から6年生までを対象に、民間ノウハウを活かしながら、アフタースクールは8校で、サタデースクールは3校で実施する予定で募集を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。また、感染症の防止対策を講じた内容での実施を検討するため、民間事業者等との情報交換を行った。					
重要業績評価指標(KPI)		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	学童保育ルームの待機児童数(人)	0	0	0	0	0	0
②	アフタースクール又はサタデースクールを実施した小中学校及び延べ参加者数(上段:学校数、下段:参加人数)	4 736	11 4,576	11 4,333	11 3,127	-	17 1,500
進捗状況評価	現状分析	<b>●「学童保育ルームの待機児童数」</b> は、0を維持し、子育てと仕事の両立できる職場環境への満足度も上昇している。 <b>●アフタースクール・サタデースクール</b> は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったが、感染防止対策を講じたあり方などを検討しており、募集状況も考慮すると、引き続き、ベース値・目標値を上回る成果が期待できる。					
	進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある <input type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある					
	今後の施策・事業展開の方向性	学童保育ルームは、民間への委託を開始し、業務の効率化と併せ、十分なサービスが維持できるよう、今後も留意しながら取り組んでいく。また、アフタースクール・サタデースクール等、児童生徒の学習機会の確保に引き続き努めつつ、多様な学習機会という面からは、緊急時の継続性の面も考慮しつつ、子どもの健全育成等を図るよう取り組んでいく。					

### ④ 子どもの交流と活動の促進

子どもたちが地域住民などとの様々な交流を通じて、自立心を養い、健やかに成長できるよう、家庭、地域、学校などとの連携強化を促進します。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.59～60】		<b>●子どもの交流・活動拠点の充実</b> 新型コロナウイルス感染症の影響で休館期間や開館後も参加人数の制限等があったものの、たつのこやま管理棟において、NPO法人、ボランティア等による「子どもの居場所づくり事業」を展開し、子どもの遊び場の提供を行った。 <b>●子どもの地域活動への参加促進</b> 青少年育成龍ヶ崎市民会議などと連携し、各小学校において「あいさつ・声かけ運動」を推進するため、のぼり旗の設置を行った。					
重要業績評価指標(KPI) ★:R3年度までの累積による目標値		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	たつのこやま管理棟(子どもの居場所)の延べ利用者数(人)	18,937	17,402	20,166	18,934	629	20,000
②	★市子ども会育成連合会の児童の加入率(%)	39.3	33	30	30	27	40
③	地域社会などでボランティア活動に参加したことがあると答えた児童生徒の割合(%)	児童65.3 生徒68.7 (H28)	児童49.5 生徒56.9	児童52.8 生徒54.6	-	-	児童71 生徒74
④	成人式典の参加率(%)	73.8	74.9	76.8	75	-	78
進捗状況評価	現状分析	<b>●「たつのこやま管理棟(子どもの居場所)の延べ利用者数」</b> は、新型コロナウイルス感染症の影響により休館期間があったことや、開館後も利用人数を制限しての実施となり、数値は大幅に減少した。 <b>●「市子ども会育成連合会の児童の加入率」</b> は、年々減少しており、目標値の達成は厳しい状況が継続している。子どもの放課後や休日の過ごし方の多様化等が要因と思われる。 <b>●「ボランティア活動に参加したことがある児童生徒の割合」「成人式典の参加率」</b> については、新型コロナウイルス感染症の影響で調査等が実施されなかった。これまでの数値の推移等を勘案すると目標値の達成は難しい状況にある。					
	進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調に進捗している <input checked="" type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある <input type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある					
	今後の施策・事業展開の方向性	新型コロナウイルス感染症の影響で、事業がほぼ実施できていない。地域や関係機関との連携はできていることから、連携関係を活用しつつ、子どもの交流と活動の促進という点で、これまでのやり方以外の効果的な事業の展開を検討していく。					



## ② 文化財の保存・活用と文化芸術に親しむ機会の充実

多様な文化財の保存を図るとともに、市民が文化財に触れ、学び、理解する機会の充実を図ります。また、地域に根付いた文化芸術の継承と新たな文化芸術活動の振興を図り、市民の主体的な文化芸術活動を促進します。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.63～64】		<p>●<b>市民遺産の認定</b>                  「関東鉄道竜ヶ崎線」について、市民遺産として認定した結果、延べ認定件数が14件となった。また、市民遺産認定に併せ、民間団体などと連携し、記念セレモニーを実施した。</p> <p>●<b>歴史的資源などの活用</b>                  前年度に引き続き、国指定重要文化財「絹本著色十六羅漢像」のレプリカを作成し、全16幅の複製が完了した。また、県指定文化財「龍ヶ崎のシダレザクラ」後継樹の苗木の植樹を行った。加えて、新型コロナウイルス感染症の影響下における新たな周知啓発事業の検討を行った。</p>					
重要業績評価指標(KPI) ★:R3年度までの累積による目標値		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	★市指定文化財の指定数(件)	17	19	19	19	19	20
②	★市民遺産の認定数(件)	6	11	12	13	14	12
③	指定文化財又は市民遺産等を活用したイベント件数(件)	2	1	3	2	-	5
④	文化芸術フェスティバルの延べ来場者数(人)	23,151	20,989	21,993	21,866	3,478	26,700
進捗状況評価	現状分析	<p>●「市指定文化財の指定数」や「市民遺産の認定数」は、目標値に達する水準で推移している。市指定文化財及び市民遺産の指定・認定や文化財等の歴史的資料の保存・保護に関して積極的な取組がなされていることが要因であると考えられる。</p> <p>●「指定文化財又は市民遺産等を活用したイベント」は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施されなかったが、今回認定された市民遺産である「関東鉄道竜ヶ崎線」を活用し、民間団体などが主催するイベントなどは積極的に実施されている。</p> <p>●「文化芸術フェスティバルの延べ来場者数」は、新型コロナウイルス感染症の影響で限定的な開催となったため、来場者数が大幅に減少している。</p>					
	進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある					
	今後の施策・事業展開の方向性	引き続き、文化財指定を通して保全・活用を図るとともに、市民遺産についても積極的な制度推進を図る。また、市内にある文化財や市民遺産等の歴史的資源の活用に、一体的に取り組み、市の魅力発信や、シビックプライドの醸成につなげることができるイベント等を民間団体や事業者等との連携も重視しながら開催していく。文化芸術活動の推進に当たっては、文化協会加盟団体ほか、市民が行う活動の掘り起こしを積極的に進め、支援をする等、市民への広がり意識した施策に取り組んでいく。					

### ③ スポーツ環境の充実

総合運動公園施設の充実や流通経済大学などとの連携により、市民誰もが身近でスポーツに親しめる場や機会の充実を図ります。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.65】		<b>●流通経済大学運動部との連携</b> 新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツを取り巻く環境が厳しい状況下にあっても、可能な範囲で流通経済大学運動部との連携事業に取り組んだ。具体的には、野球、サッカー、陸上競技の公式戦が市内で開催される時の施設の優先利用、公式戦開催の周知・PRを行い、市民と大学運動部との交流促進に努めた。なお、応援バスツアーについては、中止となった。					
重要業績評価指標(KPI)		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	たつのこアリーナ(メインアリーナ)の稼働率(%)	89	87.7	86	86	81	90
②	たつのこフィールドの稼働率(%)	61.9	60	63	58	52	67
③	たつのこスタジアムの稼働率(%)	31.8	42	40	33	25	37
④	総合運動公園における流通経済大学運動部公式戦の開催数(試合)	39	38	41	39	21	40
⑤	流通経済大学運動部公式戦応援ツアーの延べ参加者数(人)	58	35	74	49	-	80
進捗状況評価	現状分析	●「たつのこアリーナ・フィールド・スタジアムの稼働率」は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用制限や大会等の開催中止などにより、大きく数値が減少している。 ●「総合運動公園における流通経済大学運動部の公式戦の開催数」も、上記同様に感染症の影響が大きく、前年度に比べ、減少している。 ●「運動部公式戦応援ツアー延べ参加者数」は、同様に感染症の影響により中止となった。					
	進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある					
	今後の施策・事業展開の方向性	スポーツ施設の利用状況は、新型コロナウイルス感染症の影響で利用減少は見られるものの、市民がスポーツに親しみやすい環境づくりが進められており、一時的な数値の減少とみられる。今後も市民ニーズを見極めるとともに、費用対効果も検証しながら、スポーツ環境の向上に努めていく。また、流通経済大学との連携については、引き続き、さらなる連携強化を図っていく。					

# 令和2年度 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン施策評価シート

## 1 基本情報

戦略	【戦略3】地域活性化「まちの活性化と認知度向上」
目標	【目標⑦】市民活動日本一【重点目標】
基本的方向性 (抜粋)	市民一人ひとりがまちづくりの担い手として意識を持って行動し、活発な市民活動によりまちが活性化していく市民活動日本一のまちを目指して、「公共を皆で担う」気運の醸成を図るとともに、市民協働のまちづくりに取り組んでいきます。

## 2 各施策の進捗状況について

### ① 協働の取組によるまちづくりの推進

住民自治組織、NPO法人をはじめ、市民活動団体などとの連携を図り、幅広い分野での協働の取組を推進します。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.66～67】	<p>●協働事業提案制度の推進 提案募集の結果、行政提案型協働事業1件(所管課・社会福祉課)と市民提案型協働事業3件を採択した。また、提案制度の事業化の妥当性や継続性の観点から、制度見直しの検討を行った。</p> <p>●公共施設里親制度の推進 機会をとらえ、各団体への積極的な参加呼び掛けや、公式ホームページ等での周知、参加募集を継続して行い、参加団体の増加を図った。</p>						
	重要業績評価指標(KPI) ★:R3年度までの累積による目標値	ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
① 協働事業への提案件数(件)	4	4	4	1	4	4	
② ★公共施設里親制度の登録団体数(団体)	83	90	88	94	95	91	
進捗状況評価	現状分析	<p>●「協働事業への提案件数」については、前年度に比べ、大きく増加した。特に行政提案型が1件採用されており、市の持つ行政課題とのマッチングがスムーズにできた結果と考えられる。</p> <p>●「公共施設里親制度の登録団体数」は、前年度に比べ増加し、引き続き、目標値を達成した。登録団体会員の高齢化や後継者不足により、担い手不足が懸念されるが、来庁者への個別の案内等、制度の周知徹底等による効果が出ていると考えられる。</p>					
	進捗状況	<p>■順調に進捗している <input type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある</p> <p>□おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある</p>					
	今後の施策・事業展開の方向性	<p>協働事業提案については、事業開始から一定期間が経過し、特に提案採用後の事業化の妥当性や継続性に課題があったため、今後持続可能な制度となるよう見直しを図っていく。また、里親制度についても既存の登録団体において高齢化や後継者不足が懸念されており、今後対応策を講じていく必要がある。</p>					



### ③ 市民と行政の情報共有などを目指した情報発信力の強化

市民と行政が情報や問題意識の共有を図るため、行政情報や市民が必要とする情報を様々な媒体を通して積極的に発信します。また、分かりやすく親しみやすい内容となるよう努めます。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.71】		<b>●情報発信機能の充実</b> 市公式ホームページや広報紙「りゅうほー」の運用・制作をはじめ、メール配信サービスや市政情報モニター、デジタルサイネージ、SNS等、様々な媒体を活用した情報発信機能の充実に努めた。特に、市公式ホームページ上での新型コロナウイルス感染症に関する緊急情報欄など、市民の見やすさ・情報への触れやすさを意識し、効果的に情報を発信することで、大幅なアクセス増加が見られた。					
重要業績評価指標(KPI) ★:R3年度までの累積による目標値		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	市役所から発信される情報のうち、必要とする情報は得られていると感じている市民の割合(%)	68.9 (H28)	-	58.6	-	67.5 (R3)	74
②	★メール配信サービスの登録者数(人)	9,670	11,018	11,487	12,468	13,441	11,600
③	★フェイスブック「いいね！」の数(人)	1,279	1,786	1,910	2,050	2,147	2,500
④	市公式ホームページの年間アクセス件数(件)	1,304,499	1,142,963	1,214,086	1,543,777	2,219,522	1,565,000
進捗状況評価	現状分析	<b>●「必要とする情報は得られていると感じている市民の割合」</b> は、市公式LINEの開設等、市民のニーズに沿った情報媒体を増やす等の取組により、数値が上昇したものの、ベース値・目標値を下回っている。 <b>●「市公式HP年間アクセス件数」</b> は、新型コロナウイルス感染症の影響で、情報を必要とする市民等の増加に伴い、前年度との比較で大きく増加し、目標値を大きく上回って達成した。 <b>●その他の指標についても</b> 、ベース値及び前年度を上回っている。					
	進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある					
	今後の施策・事業展開の方向性	新型コロナウイルス感染症の影響下においては、市民の情報収集の傾向や情報接触度は引き続き高まっている。これらの状況を踏まえ、市民が「必要とする・欲している」情報を、さらに「適時的確」な手段により発信する必要がある。既存の情報媒体の運用も含め、その効果を測定・分析しながら、引き続き効果的な情報発信の強化を図っていく。					

### ④ 市民参加のまちづくりの推進

市民がまちづくりに関し、意見・提案ができる機会の充実を図り、まちづくりへの市民の参加を促進します。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.72】		<b>●市民参加の機会の充実</b> 市の主要施策に関する市長との意見交換の機会を確保するため、かたらい広場などを行うとともに、市民参加の多様性を踏まえ、インターネット市政モニターの充実を図り、モニター数を倍増(224人→486人)させ、多様な意見が聴取できる環境を整えた。					
重要業績評価指標(KPI)		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	まちづくりへ気軽に参加できる機会に満足している市民の割合(%)	23 (H28)	-	24.9	-	22.4 (R3)	28
進捗状況評価	現状分析	<b>●「まちづくりへ気軽に参加できる機会に満足している市民の割合」</b> は、ベース値に比べ減少しており、目標値の達成は難しい。かたらい広場などの懇談の機会やインターネット市政モニターの拡充などを行っているが、大きな成果にはつながっていない状況である。さらに、幅広い年齢層の市民参加を促す取組が必要となってきた。					
	進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調に進捗している <input checked="" type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある <input type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある					
	今後の施策・事業展開の方向性	市民からの意見聴取の機会をさらに充実させ、市民ニーズなどに応じて、市民参加の方法の見直しを検討する等、さらなる満足度を向上させ、市民参加の機会を確保する取組を推進する。今般のオンラインミーティングの一般化などを踏まえ、オンラインツールを活用した懇談の場などの創出も検討していく。					

# 令和2年度 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン施策評価シート

## 1 基本情報

戦略	【戦略3】地域活性化「まちの活性化と認知度向上」
目標	【目標⑧】地域の潜在力を活かした仕事とにぎわいを創出するまちづくり
基本的方向性 (抜粋)	企業立地促進や起業・創業支援などを通じた地域経済の活性化と雇用創出により、若者の転出抑制、UIターン促進を図ります。また、女性やアクティブシニアの活躍が期待されることから、スキルアップ支援や活躍・雇用の場の創出を図ります。

## 2 各施策の進捗状況について

### ① 産業、金融、行政の連携による地域産業の維持・強化

金融機関などと連携しながら、既存企業を支援するとともに、企業立地促進と起業・創業に対する支援の充実を図ります。また、本市の地域資源を活用したにぎわいと交流の場として、牛久沼沿いに道の駅を整備するほか、産業・金融との連携による事業展開などにより、地域経済の活性化を図ります。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.73～78】	<p>●龍ヶ崎産品の販路拡大 観光物産協会の新ブランド「プティアクーユ龍ヶ崎」の周知・PRについて、SNS(ツイッター・インスタグラム)を開設し、商品の情報提供を行った。また、圏域ケーブルテレビにおいて、観光アンバサダーによる商品の食レポの放送を行った。</p> <p>●プレミアム付きたつのご商品券事業 新型コロナウイルス感染症による地域経済へのダメージを緩和し、地域の消費喚起や地域経済の活性化を図るため、市内事業所等で使用できるプレミアム商品券を発行した(10,000円(額面は12,000円)の商品券を30,000セット)。</p> <p>●つくばの里工業団地拡張事業 つくばの里工業団地拡張事業に関し、全ての拡張エリアの土地表記に関する登記及び分譲を完了した。また、拡張エリアの市街化区域編入及び用途変更等の茨城県との協議を行った。</p> <p>●その他の事業 道の駅整備の推進、起業家タウンMatchにおける創業スクール、創業促進補助金、企業立地促進奨励金、中小企業事業資金あつ旋制度、展示会等出展支援事業補助金の交付など</p>
--	--

重要業績評価指標(KPI) ★:R3年度までの累積による目標値		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	企業立地奨励金による支援企業数(社)	6	2	1	1	2	10
②	新規雇用人数(企業立地奨励金実績)(人)	12	0	3	0	0	50
③	★創業者数(件)	-	1	7	12	18	20 (H29～33)
④	★観光物産協会がブランド認定(推奨)する企業数(社)	-	-	5	7	7	5 (H29～33)
⑤	年間道の駅入込客数(人)	-	-	-	-	-	500,000

進捗状況評価	現状分析	<p>●「企業立地奨励金による支援企業数」及び「新規雇用人数」は、ベース値と比べても厳しい状況が続いており、目標値の達成は難しい状況であるが、工業団地の拡張による分譲が完了したことにより、今後数値の上昇が期待できる。</p> <p>●「創業者数」は、新たに6人が創業し、累計18人となった。創業スクールなど、創業支援の取組が徐々に浸透しているものと思われ、定着することでさらなる数値の向上、目標の達成が期待できる。</p> <p>●「観光物産協会がブランド認定する企業数」は、新規の認定はなかったものの、新ブランド「プティアクーユ龍ヶ崎」の認定数が目標値をクリアしている。</p> <p>●道の駅整備の進捗については、引き続き埋設物などへの対応が必要であり、整備の進捗が遅れている状況である。</p>
	進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調に進捗している <input checked="" type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある <input type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある
	今後の施策・事業展開の方向性	<p>地域産業の維持・強化や創業・起業支援に関しては、産・官・学・金などの連携強化を図り、事業を推進していく必要がある。さらに、新型コロナウイルス感染症により大きなダメージを受けた市内の事業者の経営維持を主眼に、既存の事業の見直し・効率化を図るとともに、必要な新規事業も検討し、継続的な支援が可能な体制を構築していく。また、道の駅の整備については、関係機関との連携を図りながら、引き続き早期の整備を目指した取組を進める。</p>



② 若者、女性、アクティブシニア層を中心とした人材の育成・還流・定着の支援

若者・女性の雇用機会の拡大やスキルアップのための支援を図るとともに、元気な高齢者の活躍の場、雇用の場を創出します。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.79～80】		●若者のスキルアップ支援 保育士や幼稚園教諭の資格取得に係る資金貸付、市内保育所等に就労する保育士への家賃補助制度の拡充を図ったほか、ハローワークと連携した合同就職説明会を開催した。 ●その他の事業 シルバー人材センターの活性化による高齢者の雇用の充実など					
重要業績評価指標(KPI) ★:R3年度までの累積による目標値		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	ハローワークとの連携による新規就職者数(人)	—	3	1	1	—	10
②	流通経済大学卒業生の市内企業等への就職者数(人)	9	14	13	14	11	30
③	★コミュニティビジネスの起業者数(件)	0	0	0	0	0	10 (H29～33)
進捗状況評価	現状分析	●「ハローワークとの連携による新規就職者数」や「流通経済大学卒業生の市内企業等への就職者数」は、昨年度より低い水準で推移しており、目標達成は厳しい状況である。就業を希望する者とのギャップが生じており、マッチングが適切に機能していないことが要因であると考えられる。 ●保育士等修学資金貸付制度や保育士等就労促進家賃補助制度については、引き続き制度を活用し、就業した者の数が増加している等、取組の成果が現れているものの、目標値を達成する水準までは到達していない。 ●「コミュニティビジネスの起業者数」は、昨年度に引き続き0件であった。相談等は寄せられるものの、制度利用には至っていない。					
	進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある <input type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 進捗に遅れがある					
	今後の施策・事業展開の方向性	雇用の場の創出については、既存の枠組みにとらわれず、就職希望者との効果的なマッチングのあり方を検討していく必要がある。特に、主要事業となっている流通経済大学の学生の市内就業や高齢者の就業機会確保は、正確な就業ニーズの分析等に加え、受け入れる企業側の意向などの把握を行い、効果的な雇用のマッチングができるよう、施策の検討を早急に行っていく必要がある。					



#### ④ 農業の活性化支援

JAなどの関係機関と連携し、農業者の経営安定と担い手の育成、新規就農者の増加に努めるとともに、農産品のブランド化や地産地消を促進します。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.87～89】		● <b>龍ヶ崎ブランド育成事業(農産物)</b> 栽培指導員1人を委嘱し、生産者と一緒に農産物の生産性や品質の向上に取り組んだ。また、食と農のアンバサダーによる市産農産物の活用を図るため、レシピ集を作成し、配布を行い、当該レシピ集をベースとした動画配信のための撮影作業を行った。 ● <b>直売所の充実</b> 「たつのご産直市場」による農産物等の直売を実施し、「まいんバザール」や「日曜朝市やさい村」、「たつのごマルシェ」等のイベントや新たに市役所正面玄関前での出張販売を行う等、生産者の直売の場の拡大を図った。 ● <b>その他の事業</b> 産地アップ支援事業、畑作農業ステップアップ支援事業、新規就農者経営支援事業など					
重要業績評価指標(KPI)		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	農業後継者の育成など農業の振興に満足している市民の割合(%)	7.8 (H28)	-	9.3	-	16.0 (R3)	13
②	直売の場の提供回数(常設を除く。)(回)	25	43	35	62	47	40
③	農業体験の参加者数(人)	319	288	362	258	497	500
進捗状況評価	現状分析	●「農業後継者の育成など農業の振興に満足している市民の割合」は、直売の機会の拡大や担い手農業者向け支援制度の有効活用、市独自の補助事業をスタートさせたこと等により、大きく上昇し、目標値を達成した。 ●「たつのご産直市場」は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、農産物の需要が高まったことから、前年度と比べて売上げが向上している。 ●「直売の場の提供回数」は、感染症の影響下にあっても、可能な範囲でまいんバザールや日曜朝市やさい村、たつのごマルシェ以外にも出張販売を行う等の取組を行い、前年度に比べると数値が減少しているが、目標値は達成している。 ●「農業体験の参加者数」は、学校行事での取組があったため、数値が上昇した。					
	進捗状況	■順調に進捗している <input type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある <input type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある					
	今後の施策・事業展開の方向性	農産物の生産性や品質の向上から、たつのご産直市場などにおける販売の場の確保を一連で行ったことで、農業活性化に対する取組が一定の成果を上げている。引き続き、農業者の所得向上や担い手の育成、地域資源としての農業振興など、農業活性化に向け、取り組んでいく。					

# 令和2年度 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン施策評価シート

## 1 基本情報

戦略	【戦略3】地域活性化「まちの活性化と認知度向上」
目標	【目標⑨】大学と連携した特色あるまちづくり
基本的方向性 (抜粋)	大学のあるまちという魅力を活かし、まちと大学の双方の活性化につながるような連携体制を充実させていきます。

## 2 各施策の進捗状況について

### ① 龍・流連携事業の認知度の向上

龍・流連携事業や大学情報の積極的な発信に努め、龍・流連携事業の認知度の向上を図ります。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.90】		●龍・流連携事業に関する情報の発信 流通経済大学運動部の情報や龍・流連携事業の情報を市公式ホームページやSNS、龍ヶ崎市駅東口に設置してあるデジタルサイネージ等、様々な媒体を活用し、リアルタイムでの情報発信に努めた。					
重要業績評価指標(KPI)		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	市民の龍・流連携事業の認知度(%)	36.9 (H28)	-	41	-	36.6 (R3)	42
進捗状況評価	現状分析	●「龍・流連携事業の認知度」は、この間、新型コロナウイルス感染症の影響により、大学の活動が縮小していたことを受け、発信する情報が大きく減少したことから、連携事業を目にする機会も減少し、数値を大きく減らしている状況である。					
	進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある					
	今後の施策・事業展開の方向性	新型コロナウイルス感染症の影響で、発信する情報量が大幅に減少したことで、認知度などは低下しているものの、市公式LINE等、市全体の情報発信機能が拡充してきていることから、これらを活用した発信も行っていくことで情報発信を強化していく。					

### ② 大学(学生)・市民の交流促進

流通経済大学の豊富な人材や充実した施設を活用し、市民の関心の高い講座やイベントを開催し、大学(学生)と市民の交流の促進を図ります。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.91】		●流通経済大学運動部との連携【再掲】 新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツを取り巻く環境が厳しい状況下にあっても、可能な範囲で流通経済大学運動部との連携事業に取り組んだ。具体的には、野球、サッカー、陸上競技の公式戦が市内で開催される時の施設の優先利用、公式戦開催の周知・PRを行い、市民と大学運動部との交流促進に努めた。なお、応援バスツアーについては、中止となった。					
重要業績評価指標(KPI)		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	市民大学講座の延べ参加者数【再掲】(人)	113	625	661	580	-	160
②	総合運動公園における流通経済大学運動部公式戦の開催数【再掲】(試合)	39	38	41	39	21	40
③	流通経済大学運動部公式戦応援ツアーの延べ参加者数【再掲】(人)	58	35	74	49	-	80
進捗状況評価	現状分析	●「市民大学講座の参加者数」は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見送ったが、これまでの数値の推移を勘案すると目標達成は可能と推察される。 ●「総合運動公園における流通経済大学運動部の公式戦の開催数」も、上記同様に感染症の影響が大きく、前年度に比べ、減少している。 ●「運動部公式戦応援ツアー延べ参加者数」は、同様に感染症の影響により中止となったが、これまでの傾向を勘案すると目標達成は可能と推察される。					
	進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある					
	今後の施策・事業展開の方向性	流通経済大学運動部を中心に、市民と大学の連携については、引き続き更なる強化を進めていくとともに、新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても、大学との連携した取組を引き続き協議・検討をしていく。					







# 令和2年度 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン施策評価シート

## 1 基本情報

戦略	【戦略4】地域力の向上「安全・安心で住みよい環境づくり」
目標	【目標⑩】地域がつながる、安全・安心なまちづくり
基本的方向性 (抜粋)	地域の住民が互いに支え合い、安全・安心に住み続けられるよう、地域の力を維持・向上し、地域間の市民交流を促進することや、人と人とのつながりを活かした地域づくりを進めることなどにより、市民がいつまでも住み続けたいと感じるような安全・安心なまちづくりを進めます。

## 2 各施策の進捗状況について

### ① 市内公共交通網の充実

高齢者や子どもにも利用しやすく、市内各地域へ移動しやすい公共交通網の充実を図るとともに、公共交通の利用促進を図ります。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.102～104】		<p>●コミュニティバス・乗合タクシーの運行 コミュニティバスの運行計画について、地域住民からの要望や安全運行の確保の観点から一部変更を行った。また、地域公共交通の重要性を小学生に理解してもらうため、市内3小学校において、モビリティマネジメント事業を展開した。</p> <p>●コミュニティバス停留所整備 コミュニティバスの利用者の利便性を向上させるため、一部バス停に隣接する店舗等の協力を得て、バスの待合所として活用する、バス待ち処「まてまて」の運用を行った。</p> <p>●バスロケーションシステムの導入 コミュニティバス利用者の利便性や快適性の向上を図るため、市役所内にデジタルサイネージを新設するほか、市民へのリーフレット配布や市広報紙「りゅうほー」への記事掲載などで周知を図った。</p>					
重要業績評価指標(KPI)		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	コミュニティバスの年間利用者数(人)	190,570	191,939	192,745	197,776	161,703	205,000
②	高齢者向け市内公共交通共通定期券の延べ 売上月数(月)	261	370	300	787	650	342
進捗 状況 評価	現状分析	<p>●「コミュニティバスの年間利用者数」は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、大幅に利用者数が減少している。</p> <p>●「高齢者向け市内公共交通共通定期券の延べ売上月数」は、前年度と比べ減少したものの、目標値は達成している。対象年齢の拡大等による利用促進などにより、利用者が増加したことが要因と考えられる。</p> <p>●新型コロナウイルス感染症の影響による社会環境の変化なども考慮し、地域公共交通の今後のあり方は考えて行く必要がある。</p>					
	進捗状況	<p><input type="checkbox"/> 順調に進捗している                      <input type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している           <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある</p>					
	今後の施策・ 事業展開の方向性	<p>コミュニティバスの再編成により利便性向上が図られたことで、利用者数が増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響を強く受け、大幅な利用者減になっている。今後、テレワークや在宅ワークなどの進展も想定されることから、働き方のあり方そのものが変化する状況もあるため、今後の動向を注視し、地域公共交通のあり方を検討していく必要がある。</p>					



## ② 地域コミュニティを核とした地域力の向上

コミュニティセンターを単位とした中核的な地域コミュニティの形成及びその活動の促進を図るほか、地域コミュニティ活動の活性化に向けた環境整備を図ります。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.105～106】		● <b>中核的な地域コミュニティ活動の促進</b> 市内全13地区に地域コミュニティが設立されたことを受け、地域コミュニティや住民自治組織など、関係者による今後のコミュニティ活動のあり方の検討のための意見交換会を実施した(計6回)。また、新型コロナウイルス感染症の関係で、地域からの相談などについて、コミュニティセンターを中心に受付などを行った。 ● <b>長戸コミュニティセンターの建て替え</b> 新長戸コミュニティセンター建設に向け、基本設計を実施した。また、地元の地域コミュニティとの意見交換を実施した。					
重要業績評価指標(KPI)		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	地域での助け合いやボランティア活動に満足している市民の割合(%)	28.9 (H28)	-	30.8	-	27.6 (R3)	34
進捗状況評価	現状分析	●「地域での助け合いやボランティア活動に満足している市民の割合」は、前回に比べ減少している。新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動やボランティア活動などが制限されていることが数値減少の要因の一つと考えられる。 ●中核的な地域コミュニティが市内全13地区で設立され、地域の特色に応じた活動が展開されている。					
	進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある					
	今後の施策・事業展開の方向性	市内全地区で中核的な地域コミュニティが立ち上がり様々な活動が展開されているが、今後は地域の持続可能性を鑑み、地域での取組が自立的に運営できるような支援体制などの構築が重要となる。加えて、組織の高齢化も大きな課題であり、若者の参画の取組を引き続き推進し、今後のあるべき姿について地域コミュニティ協議会とともに検討していく。					

### ③ 地域の防犯体制の充実

防犯カメラの設置など、地域の安全性の基盤を整備するとともに、地域での見守りやパトロールなど様々な活動主体による地域防犯活動を促進します。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.107～109】		<b>●地域の安全・安心の基盤向上</b> 防犯や犯罪抑制の観点から、竜ヶ崎警察署と協議を行い、防犯カメラを2か所新設した。また、地域団体に対する防犯カメラ設置補助事業については、市広報紙等で周知を行うなど、市民の事業への理解を進め、2団体・4基の交付決定を行った。地域の防犯灯については、LED化を促進し、地域からの要望に応じてLED防犯灯の設置及び修繕を行った。							
		<b>●地域での見守り、助け合い活動の支援</b> 地域の防犯見守り活動については、身近な防犯体制の強化と防犯意識の高揚を図るため、青色パトロール講習会などを実施した。また、高齢者等の安心安全を維持するため、市民や事業者等の協力の下、見守りネットワーク事業を推進し、新規に3事業所・43人の協力団体・協力者を得た。							
		<b>●その他の事業</b> 自動通話録音装置貸与事業など							
		重要業績評価指標(KPI) ★:R3年度までの累積による目標値		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	犯罪や非行防止などの治安対策に満足している市民の割合(%)	27.8 (H28)	-	30.2	-	32.7 (R3)	33		
②	防犯パトロールの実施団体数(団体)	18	18	18	19	20	18		
③	★見守りネットワーク参加事業所・市民の数 (団体・人)	416	700	712	748	746	500		
進捗状況評価	現状分析	●「犯罪や非行防止などの治安対策に満足している市民の割合」は、防犯連絡員による登下校時の見守り活動や防犯サポーターによるパトロール、また、防犯カメラや防犯灯の新設等が継続的かつ確実に実行されており、数値が上昇し、目標値に近い状況となっている。 ●「防犯パトロールの実施団体数」は、目標値である18団体を越え、20団体で実施できている。防犯連絡員の高齢化や新たな連絡員のなり手不足という問題を抱える中ではあるが、防犯キャンペーン等の開催により、防犯活動の重要性や防犯活動への参加意欲の向上を図ったことが要因であると考えられる。 ●「見守りネットワーク参加事業所・市民の数」は、前年度に比べ、数値は横ばいだが、目標値をクリアしている。市民や事業者等への周知・勧奨が積極的に行われていることが要因の一つであると考えられる。							
	進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある <input type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある							
	今後の施策・ 事業展開の方向性	引き続き、防犯カメラやLED防犯灯の整備等、犯罪抑止効果が期待される防犯インフラの整備を、警察や地域と協議を行いながら計画的に推進していく。また、地域における防犯環境の向上のため、防犯連絡員協議会をはじめとする防犯団体や警察署と連携しながら、防犯体制の強化に努めていく。							

#### ④ 空家等対策の推進

多くの問題を抱える空家等の発生抑制に努めるとともに、やむを得ない事情で発生した空家等の適正管理を促進します。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.110～111】		<b>●空家等対策の推進</b> 「龍ヶ崎市空家等の適正な管理に関する条例」に基づき、空家等対策検討委員会や空家等対策推進協議会における審議を経て、空家の適正管理を実施した。また、管理不全な空家等の所有者等に対し、改善指導を行い、適正管理及び空家等に起因する犯罪等の未然防止に努めた。また、市民等への周知に当たっては、弁護士・司法書士・宅地建物取引士・建築士などの専門家による空家相談会を開催するほか、定住促進事業との連携による市広報紙・市公式ホームページ・SNSなどへの記事掲載を行った。 <b>●その他の事業</b> 空家バンク制度【再掲】など					
重要業績評価指標(KPI) ★:R3年度までの累積による目標値		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	★適正管理を促した空家等のうち、改善された空家等の割合(%)	24.0	60.8	74.4	68.8	86.9	30 (H27～33)
進捗状況評価	現状分析	<b>●「適正管理を促した空家等のうち、改善された空家等の割合」</b> は、引き続き、ベース値・目標値を大きく上回っており、「龍ヶ崎市空家等の適正な管理に関する条例」に基づく空家等の適正管理等の取組が効果を上げている。 <b>●空家等対策、空家の活用(空き家バンク制度)と定住促進事業の連携</b> を図り、住宅を必要とする者とのマッチングを図ることで、事業の相乗効果をねらう取組ができている。					
	進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある <input type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある					
	今後の施策・事業展開の方向性	管理不全な空家等の問題の改善・解消及び空家等に起因する犯罪等の未然防止を図るため、引き続き、空家等の所有者等への改善要請や改善指導に取り組んでいく。また、専門家による空家相談会の開催や移住・定住の視点も含め、空家の有効活用を図るための取組についても引き続き推進する。					

# 令和2年度 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン施策評価シート

## 1 基本情報

戦略	【戦略4】地域力の向上「安全・安心で住みよい環境づくり」
目標	【目標②】スポーツ健幸日本一【重点目標】
基本的方向性 (抜粋)	市民がスポーツ・運動を通じた健康づくりに取り組む環境を整備することで、健康寿命の延伸を図るとともに、高齢者が「健幸」な長寿社会を目指すなど、市民が生涯にわたり健やかで幸せな生活を送ることができるスポーツ健幸日本一のまちを目指します。

## 2 各施策の進捗状況について

### ① スポーツ・運動を通じた健康づくりの推進

市民誰もがスポーツ・運動に親しみながら、健全な心身を養い、健康づくりを進められる環境を整備することなどにより、市民の健康寿命の延伸を図ります。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.112～115】	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康寿命の延伸に向けた運動習慣の普及 健康維持のための各種講座等に取り組む一方、てくてくロードや健幸ウォーキングマップを利用し、市民のウォーキングへの取組を支援した。また、いきいきヘルス体操や元気アップ体操の普及促進に向け、サブスクエアサプラをはじめ、市内各所で実施した。</li> <li>●健幸マイレージ事業 ウォーキング等の歩数に応じてポイントを付与する健幸マイレージ事業を実施し、市民のさらなる運動習慣の定着を促進した。</li> <li>●マラソン大会開催の推進 マラソン大会の実施に向け、大会実行委員会・大会運営委員会の運営、各種関係機関等との協議、エントリーの受付、スタッフの確保などを行った。</li> <li>●その他の事業 旧北文間小跡地を活用した健幸拠点の整備など</li> </ul>						
	重要業績評価指標(KPI)	ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	スポーツイベント(市民スポーツフェスティバル等)の延べ参加者数(人)	7,378	6,844	8,285	8,756	2,547	8,800
②	スポーツ教室の延べ利用者数(指定管理者)(人)	42,613	56,959	47,895	45,635	40,999	51,000
③	ニュースポーツ教室・大会の延べ参加者数(人)	1,035	898	1,157	1,238	34	1,200
④	ふるさとふれあい公園(グラウンドゴルフ場・ゲートボール場・ディスクゴルフ場)の延べ利用者数(人)	15,454	15,795	15,650	15,322	11,152	18,000
⑤	てくてくロードを歩いた延べ人数(人)	1,528	1,911	1,176	974	1,063	2,300
⑥	健康ウォーキング講座の延べ参加者数(人)	217	243	243	850	321	450
⑦	いきいきヘルス体操教室の延べ参加者数(人)	21,596	21,982	19,492	18,745	5,841	25,000
進捗状況評価	現状分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「てくてくロードを歩いた延べ人数」以外の各指標について、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントや教室、大会等の中止により、数値が大幅に減少している。</li> <li>●一方で、これまでの数値の推移を見ると、イベントの実施に関する指標については、順調に伸びていたものもあり、これらについては、感染症の影響がなかったと仮定するならば、マラソン大会をはじめとした各種イベントの実施により、数値は上昇していたものと推察される。</li> </ul>					
	進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある					
	今後の施策・事業展開の方向性	スポーツに関する事業やイベントは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止等により事業の進捗が後退してしまった面が強い。とはいえ、感染症の状況下においても、スポーツを主体とした健康づくりの重要性は高く、このような状況でも市民の健康づくりが継続できるような仕組みを検討していく必要がある。					

## ② 高齢者の「健幸」力の向上

高齢者の心身両面での健康づくりを推進するとともに、社会参加や生きがいづくりに親しみやすい環境を整備します。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.116～118】		● <b>健康づくりの推進(健診環境の改善)</b> 特定健康診査における受診勧奨に当たっては、過去の受診歴の有無やレセプトの有無によりグループ分けを行い、内容を変えた通知を送付する等、より実効性のある通知を行った。また、健診環境の改善のため、特定健康診査とがん検診が同時に受診できる集団検診を実施した。 ● <b>新保健福祉施設の整備</b> 新保健福祉施設の整備に向けた新たな基本構想を策定した ● <b>まいん「健幸」サポートセンターの運営</b> 高齢者等の健康づくりに資する教室や講座の開催を行った。					
重要業績評価指標(KPI) ★:R3年度までの累積による目標値		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	特定健康診査受診率(国民健康保険加入者)(%)	28.4 (H26)	28.6	33.3	32.3	23.4 (速報値)	48
②	★要介護認定率(%)	12.1	12.0	12.1	12.3	12.6	13
③	生きがいづくりや趣味を楽しむ機会・場所に満足している市民(61歳以上)の割合(%)	35.5 (H28)	-	33	-	38.9 (R3)	50
④	高齢者活動団体への助成数(団体)	-	5	8	13	14	15
進捗状況評価	現状分析	●「特定健康診査受診率(国民健康保険加入者)」は、前年度と比べて減少しているが、新型コロナウイルス感染症の影響によるものと考えられる。取組では、引き続き未受診への受診勧奨通知を過去の受診歴等に応じてグループ分けし、当該グループによって通知内容を変える等を行っており、受診者増加に向けた取組が継続されている。 ●「生きがいづくりや趣味を楽しむ機会・場所に満足している61歳以上の市民の割合」は、前回に比べ数値が上昇しているものの、目標値達成は難しい状況である。 ●「高齢者活動団体への助成数」は、前年度に比べ、助成数が増加しており、制度の周知が徹底されていること等を要因としているものと考えられる。					
	進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある					
	今後の施策・事業展開の方向性	引き続き、市民の健康寿命の延伸に向けた取組を推進する。また、高齢者の生きがいづくりについては、特定の団体への支援にとどまらず、新たな活動の場の掘り起こしや支援策等を検討し、高齢者がいきいきと活躍できるよう取り組んでいく。					

# 令和2年度 第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン施策評価シート

## 1 基本情報

戦略	【戦略5】持続可能な行財政運営「将来につながる基盤づくり」
目標	【目標③】健全で効率的な行財政運営の推進
基本的方向性 (抜粋)	市民ニーズの多様化や需要増に対応できる人材の育成と確保、有効活用の観点による公共施設の効率的な管理運営に加え、財政健全化に努めていくことで、将来を展望した経営的な視点による健全で効率的な行財政運営を推進していきます。

## 2 各施策の進捗状況について

### ① 人員の確保と人材育成の強化

業務量に応じ、適切な人員確保・配置を行うとともに、市民ニーズの高度化・多様化にも対応し、政策を実現できる人材の育成に取り組みます。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.119~120】	<p>●<b>人材育成・職員資質の向上</b> 職員採用試験では、総合能力試験(SPI3)を実施し、また、現行の紙による願書受付を電子申請へ切り替えるなどの環境整備を実施した。また、階層別研修や専門研修、特別研修等を実施し、職員のスキル・能力の向上を図った。特に、早稲田大学マニフェスト研究所人材マネジメント部会へは、前年度に引き続き職員3人を派遣し、組織のあり方やファシリテーション手法、対話等による課題解決手法等を、「研究する」というスタンスで取り組み、市長・副市長に成果報告を行った。加えて、これらを踏まえつつ、第3次人材育成基本計画の策定を行った。</p> <p>●<b>働き方改革の推進</b> 働き方改革を推進するため、第4期特定事業主行動計画を策定し、組織目標、取組内容、進行管理方法などを決定した。</p>						
	重要業績評価指標(KPI)	ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
	① 職員研修の延べ受講者数(人)	1,107	1,217	899	940	673	1,162
② 職員一人当たりの年間平均時間外勤務時間数(時間)	113.9	121.1	110.5	95.6	85.6	108	
進捗状況評価	現状分析	<p>●「職員研修の延べ受講者数」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、外部における研修受講の機会が大きく減少したことから、前年度と比べ、数値も減少した。</p> <p>●「職員一人当たりの年間平均時間外勤務時間数」は、働き方改革の実施に伴う各部課等における取組が効果を上げ、前年度と比べ、大きく時間数を減らし、目標値を達成した。</p> <p>●職員が業務外で独自に研修等を行う「自主研修」の取組も出てきており、職員の意識の向上が見られるようになっている。</p>					
	進捗状況	<p><input type="checkbox"/> 順調に進捗している                      <input type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している           <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある</p>					
	今後の施策・事業展開の方向性	<p>職員の資質向上や意識・行動改革を図る等、全庁的共通認識の下、人材育成に取り組む。また、対話の場の創出などにより、相談しやすい環境づくりや職場内の意識統一を図りやすい体制づくりなど、職員がいきいきと働きやすい職場環境を整え、「働き方改革」を推進していく。</p>					

## ② 健全な財政運営の推進

市税の収納率向上への取組を推進するとともに、受益者負担や補助金・負担金の適正化、効果的な財政配分等を図っていくことで、健全な財政運営の確立を目指します。

主要事業の取組状況 (※進行管理シート参照) 【P.121~122】		<p>●<b>第2次中期財政計画の推進</b>                  予算要求基準を見直し、一般行政経費を部単位の「枠配分」とし、担当課が主導し、事業の再編成・整理・統合・廃止、特定財源の確保等に取り組んだ。加えて、財源の確保等のため、公共用地の売却を推進し、公共施設へのネーミングライツを実施した(3施設)。</p> <p>●<b>市税の収納率向上</b>                  収納率の向上のため、納税通知書送付時にはがき仕様の口座振替依頼書を同封し、より簡便な手法で口座振替ができるようにした。また、スマートフォン決済アプリを導入し、納税環境の整備を図った。加えて、滞納整理については、事案に応じた取組を進めるとともに、特に徴収困難な事案については、茨城租税債権管理機構への移管を行う等、収納率の向上に努めた。</p>					
重要業績評価指標(KPI)		ベース値 (H27)	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目標値 (R3)
①	市税の収納率(国民健康保険税を除く。)(%)	96.63	97.51	98.63	98.09	98.20	97.63
②	基礎的財政収支(百万円)	3,053 (H26)	1,110	618	456	R3.12 算出予定	黒字
③	経常収支比率(%)	90.4 (H26)	93.0	95.6	94.8	93.2 (速報値)	90以下
④	積立金残高比率(%)	40.6 (H26)	43.2	40.7	35.8	34.6 (速報値)	35以上
⑤	実質債務残高比率(%)	219.2 (H26)	194.1	194.8	198.8	181.3 (速報値)	180以下
⑥	社会資本形成の将来世代負担比率(%)	29.8 (H26)	29.6	11.8	11.6	R3.12 算出予定	30以下
進捗状況評価	現状分析	<p>●「市税の収納率」は、前年度並みで推移しているものの、目標値は達成できている。この間の収納率向上策で軽易な未納案件は少なくなっており、今後の収納率向上は厳しい現状がある。</p> <p>●「経常収支比率」「積立金残高比率」「実質債務残高比率」は、前年度に比べ若干の改善が見られるが、引き続き、市の財政は厳しい状況にあり、一層の歳出削減、歳入確保の取組を推進していく必要がある。</p> <p>●今後、新型コロナウイルス感染症の影響による大幅な歳入減(個人・法人市民税など)が見込まれている。</p>					
	進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> やや進捗に遅れがある <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調に進捗している <input type="checkbox"/> 進捗に遅れがある					
	今後の施策・事業展開の方向性	さらなる収納率向上に向け、引き続き現年度分を含めた滞納税の徴収強化及び整理・圧縮を図りつつ、納付環境を拡充していく。また、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う大幅な歳入減少が見込まれる状況であり、市債借入れの増加や基金残高の減少が懸念されることから、全庁的な共通認識の下、引き続き第2次中期財政計画に定める財政力強化の取組を推進していく。					

